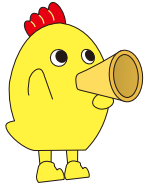


1 “知ること” ～「性のありよう」とは?～



9月から「おおいたパートナーシップ宣誓制度」が施行されたね。表紙の説明にある性的マイノリティって、LGBTのことだよな…? 「性的マイノリティ」「LGBT(エルジービーティー)」という言葉聞いたことはあるけれど、よく分からないから教えて!

「性的マイノリティ」は、「性のありよう」について社会的に少数派となる人たちのことをいうんだよ。

そして、「LGBT」は性的マイノリティを表す言葉のひとつとして使われているんだ。

- L : (レズビアン) 女性の同性愛者
- G : (ゲイ) 男性の同性愛者
- B : (バイセクシュアル) 両性愛者
- T : (トランスジェンダー) こころの性とからだの性が一致していない人



ひとつということは…、L・G・B・Tの4つ以外にもあるの?

あるよ。例えば、

Q : (クエスチョニング) こころの性や好きになる性がわからない、はっきりしていない人

他にも、

- Xジェンダー : こころの性が男女のどちらでもない人
- Aセクシュアル : 他者に対して恋愛感情や性的欲求を抱かない人
- ノンセクシュアル : 恋愛感情はあるが性的欲求を抱かない人
- パンセクシュアル : 好きになる相手の性別にこだわりがない人

これでもすべてではなく一部なんだよ。

「性のありよう」はとても多様であることから、+ (プラス) をつけて、「LGBTQ+ (エルジービーティーキュープラス)」と表現することも増えてきているんだ!



なるほど!説明の中に、「からだの性」「こころの性」「好きになる性」ってあるけど何? 「性のありよう」を決める要素はこの他にもあるの?

「性のありよう」は次の4つの要素で考えることが多いんだ。

からだの性 (生物学的性)

からだの特徴によって決まる性

こころの性 (性自認)

自分の性をどのように感じているか

どの性を好きになるか、
またはならないか

好きになる性 (性的指向)

自分の性をどのように
表現するか (服装や髪型など)

表現する性 (性表現)

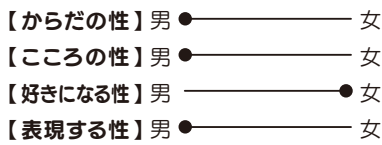
だから、「LGBT」のL・G・Bは「好きになる性」
Tは「こころの性」に着目しているんだよ。



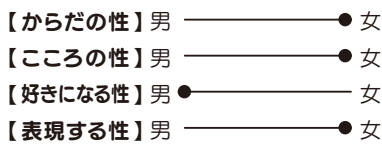


そっか…。
4つの要素を表にすると、

男性なら、

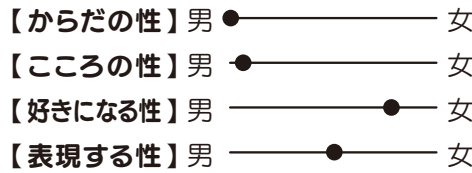


女性なら、

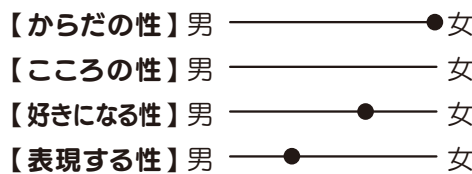


って考えてしまうけれど…

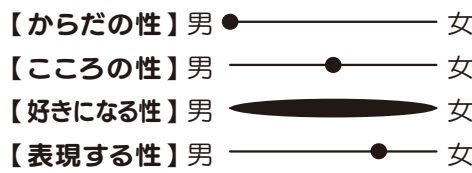
実は…



●が端であるとは
限らない



●が打てるとも
限らない



●であるとも
限らない

ということになるね。



つまり

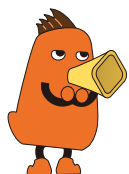
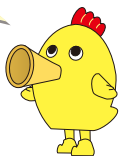
わたしたち一人ひとりに
自分の「性のありよう」があるんだ!

だから、最近では特定の人を示す
「LGBTQ+」ではなく、

好きになる性(性的指向) : セクシュアル Sexual オリエンテーション Orientation
 こころの性(性自認) : ジェンダー Gender アイデンティティ Identity
 表現する性(性表現) : ジェンダー Gender エクスプレッション Expression

の頭文字をとって「SOGIE(ソジー)」という
考え方へと変わってきているんだ。

「SOGIE」はすべての
人がもっている要素だから、
自分には関係のない話ではなく、
誰もが当事者(自分自身の問題)と
捉えやすくなるね。



「性のありよう」がこんなに多様であるって初めて知ったよ!

もっと知るために、講演活動や性的マイノリティの方々の
サポートをしている奥 おく 結香 ゆいか さんの話を聴いてみようよ!

